

哲學研究

第五百六十七號

平成十一年四月十日發行

彙報

道德起源論から進化倫理学へ（続）……………内井惣七

見えることの構造……………小川侃

——セザンヌをめぐる構造的・現象学的省察——

禁じられた道……………三浦要

——パルメニデスにおける探求の行方——

パウル・テイリッヒにおける

意味の問題と宗教……………今井尚生

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲学会規約

- 一、本会は広義における哲学の研究とその普及を図ることを目的とする。
- 二、右の目的のために左の事業を行う。
 - (一) 会誌「哲学研究」を発行する。
 - (二) 毎年公開講演会を開く。
 - (三) 随時研究会を開く。
- 三、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員は京都大学大学院文学研究科の旧哲学科系所属教官の有志、および委員会において推薦したものに委嘱する。
- 四、本会は賛助員若干名をおく。賛助員は会員の中から委員会が推薦する。
- 五、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けない。学校・図書館・其他の団体は団体の名を以て入会することができる。
- 六、会員は年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円(数冊分)を前納する。
- 七、会員は会誌の配布を受け会誌に予告する諸種の行事に出席することができる。
- 八、本会は事務所を京都大学文学部内におく。
- 九、規約の改正は委員会の決定による。

福長根中中徳筒田蘭杉清佐川加片苧内内岩井乾伊伊池芦
 谷谷立村畑永井中田村水々木添藤柳阪山井城上 藤藤田名
 御 御
 正研俊正宗清紀 靖代 丞信尚榮直勝惣見 敏邦和秀定
 茂當介春志雄忠行坦彦明平介武一行利七一俊郎武行三道

京都哲学会委員

山御水松寶藤藤
 本牧谷田月田田
 耕克雅素 正和
 平己彦二誠勝生

学的考察

松浦雄介 社会学的理性の変容

宮武実知子 ハンス・フライヤーの共同体論

村上浩介 コミュニケーションの多元性

坂部晶子 植民地の記憶の社会学

科学哲学科学史

野澤 聡 ヨハン・ベルヌーイにおける力学の原理の探求——自然学としての力学——

五 博士後期課程学修者氏名(哲学系)

——平成十年三月——

哲学……久米暁、関水克亮

西洋哲学史……菊池建至、高田佳代子、松根伸治、次田憲和

中国哲学史……李惠京

倫理学……奥野満里子

美学美術史学……青山勝

宗教学……小野真、重松健人

仏教学……山中行雄、金仕業

キリスト教学……今井尚生

心理学……朝倉暢彦、安藤新樹、仁科繁明

社会学……田野大輔、筒井清輝、野崎賢也

前 号 目 次

理性とは：：分別か：：……………荒牧典俊

道徳起源論から進化倫理学へ……………内井惣七

計算の哲学的意味……………齊藤了文

近代の存在論……………山脇雅夫
——ヘーゲルの現実性概念——

次号論文予告

神の像と人間……………水垣 渉
——キリスト教人間論の一つの問題点——

ヘーゲル「自然哲学」の改訂過程……………加藤尚武

キリスト教信仰と宗教言語……………芦名定道

スピノザと主観性の消失……………松田克進

会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けません。入会希望の方は京都市左京区吉田本町京都大学文学部内京都哲学会（振替口座〇二〇二〇〇一―四〇三九 京都哲学会）宛に年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（数冊分）をお払下さい。又会員への会誌送付、バックナンバー購入及び発売に關する一切は東京都千代田区麴町二―六―七創文社（振替口座〇〇二二〇〇―九二四七二）宛に願います。

一、会員の転居・入退会の事務及び編輯事務の一切は京都哲学会宛に御通知下さい。

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雑誌等は本会宛にお送り下さい。

京 都 哲 学 会

〒六〇六―八五〇一
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内
（〇七五七五三二七三七四）

平成十一年 四月 五日 印刷
平成十一年 四月 十日 発行

編輯兼
發行人 京都大学文学部内
京 都 哲 学 会
編輯委員

代表
藤 田 正 勝
山 本 耕 平
清 水 御 代 明
御 牧 克 己

發 売 所 株式 創 文 社

久 保 井 浩 俊
〒一〇二―〇〇八三
東京都千代田区麴町二―六―七
電話 〇三―三三六三―七二〇一
振替 〇〇二二〇〇―九二四七二
印 刷 所 晧 印 刷 株 式 会 社

註 文 規 定

一、会員以外の購読者の御注文及び広告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい。
一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、送料七三円）前金にてお送り下さい。

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

NO. 567

April

1999

Articles

From the Origin of Morality to the Evolutionary

Ethics, part II: Reductionism in the Normative

EthicsSoshichi Uchii

Zur Struktur dessen, was mir erscheint. — Eine

struktural-phänomenologische Besinnung

zur Malerei CézanneTadashi Ogawa

Les chemins de recherche interdits chez

ParménideKaname Miura

Religion and Problems of Meaning in

Paul TillichNaoki Imai

Notes

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-4 特別定価 本体2,500円 + 税